

■寅卯天中殺の人との人間関係

寅卯天中殺と言うのは、多少、大ざっぱなところはあるけれど、度胸がよくて思いきった冒険も辞さない寅卯天中殺だけに、石橋をしっかりと叩いて、着実に一步一步進んで行く子丑天中殺にとっては、まるで、“水と油”のような性格や行動を示す二つのタイプですが、反発し合うどころか、東方欠落の寅卯天中殺の大らかさが、子丑天中殺を大地に根を張ったような、しっかりした生き方を授けてくれたり、子丑天中殺の持っている良い面をぐんぐん引き出して呉れる非常に発展的な相手になるのです。

いま、子丑天中殺の人が仕事面でうまくいっているとか、良いチャンスに恵まれているとしたら、ちょっと周囲を見まわしてみてください。あるいは過去に仕事に成功したときのことを思い出してみてもいいでしょう。そのとき、あなのまわりの上司、あるいは一緒に組んで仕事をした同僚、得意先や商売の相手等といった…どこかに、寅卯天中殺の人が必ず居た筈です。

もともと、子丑天中殺は性格的には強いものを持っていますが、人に対しては穏やかなのです。ですから、思っていることの半分も強く出られない人です。それが、豪放磊落で飛び込んでくれば、「おお、来たか。よし、まかせておけ」といった感じに受け止めてくれる寅卯天中殺の相手だと、安心して自分の強い面を出せるし、良い面も活かせる。……そこに、“発展”が生れるのです。

寅卯天中殺には、本来強い発展の力があるのです。ですから、そういう力を持った上役や、同僚・得意先の相手・友人が居るということは、子丑天中殺にとって有難いことです。

こういように、人情のからまないビジネスの面では良い事づくめの相手ですが、ここに人情がからむ関係になると困ることになります。たとえば、静かな雰囲気を好む子丑天中殺がゆっくり休みたいと思っているのに、「年寄りみたいなことを云うな。もう一軒行こう」とか「明日の休みはゴルフだ」等と言って引っ張りまわすのが寅卯天中殺。……疲れる相手になってしまいがちなのです。

ぐんぐん引き立ててもらえて、大変ありがたいけれど、寅卯天中殺の、まるで「それ行け」「やれ行け」と言わんばかりのすごいパワーに押しまわられて、子丑天中殺はちょっとペースが合わないとか、息切れがちなのです。(ダイエーの王貞治監督〔子丑〕が、かつて、巨人軍の監督だった時代、巨人軍オーナー正力亨氏〔寅卯〕とが、この形の相性。寅卯天中殺のオーナーの引き立てで監督に抜擢されたけれど、静かなペースで進みたい子丑天中殺の王監督にとっては精神的ストレスは非常に強かった筈です。)

親子とか恋人関係でも同様です。とくに、寅卯天中殺の父とか母に、子丑天中殺の子供という関係ですと、子供の方が、被害者(?)になってしまいます。

親にしてみれば、なんとか子供を引き立て様と一生懸命になるけれど、子供がどうもついて行けない……という関係になってしまいがちです。

あるいは、子丑天中殺がデートの度に「好きだし楽しいんだけど……なんかちょっと引き回されるみたいで疲れちゃう」という不満を感じることがあるとしたら、多分その恋人は寅卯天中殺ではないでしょうか。

恋人同士ですと、多少こうしたギクシャクしたところがあってもすみますが、夫婦の場合ですと話は別ですとくに、子丑天中殺が女性ですと最高の相性の一つです。寅卯天中殺のおおらかさの影響で、子丑天中殺の人が内側に持っている激しさや鋭さ・穏やかで柔らかいものに変わります。

相手の家や生活にもすんなりと溶け込め、堅実な家庭を築くことになるでしょう。

子丑天中殺の人が、健康を損ねて病院に行った場合、もしお医者さんが寅卯天中殺ですと、ちょっと問題です。発展性を産む寅卯天中殺ですから、いくら気が合ってもその病気は長引くことになりかねません。